



1/12 横芝小学校1年生昔遊び「おはじき」

- 12月定例会・11月臨時会 2～3P
- 一般質問..... 4～11P
- 二常任委員会合同視察研修..... 12P
- 成田国際空港視察・議会ダイアリー・議会を傍聴しませんか… 13P
- 編集後記..... 14P

12月定例会

条例改正・補正予算など14議案を可決

令和5年12月定例会は、12月5日に招集され9日間の会期で開催されました。
定例会に提出された議案は、町長提出14議案で、いずれも慎重な審議が行われ、可決されました。
また、7名の議員による一般質問を行い、12月12日に閉会しました。

議決結果 ≪12月定例会≫

賛成＝○ 反対＝●

議案14件のうち、賛否が分かれた案件は2件でした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			森大地	内田美穂	霞浩子	市原成一	印東彦治	小倉弘業	森川貴恵	秋鹿幹夫	宮園博香	山崎義貞	鈴木和彦	鈴木輝男	川島仁	川島富士子	鈴木克征	鈴木唯夫
議案第1号	行政組織条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔注〕議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明します。	○	○	○	○	○
議案第2号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○
議案第3号	特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○
議案第4号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第5号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第6号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第7号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第8号	農業集落排水事業の設置等に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第9号	指定管理者の指定 （光B＆G海洋センター、光しおさい公園）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第10号	令和5年度一般会計補正予算（第8号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第11号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第13号	財産の無償貸付け	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第14号	令和5年度一般会計補正予算（第9号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○

請願 1 件を採択

12月定例会に提出された請願 1 件は、民生文教常任委員会へ付託され、審査されました。
結果は下記のとおりで、採択された意見書 1 件は議長名で各関係機関へ提出しました。

件 名 請願者氏名	付 託 常任委員会	本会議の 採 決	発議件名 採 決	意見書 提出先
請願第 1 号 アスベスト建材製造企業の基金拠出等「特定 石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等 の支給に関する法律」の改正を求める国への 意見書を求める請願書 千葉土建一般労働組合金武支部 執行委員長 野老 貞一	民生文教 常任委員会 採 択	採 択	発議第 1 号 「特定石綿被害建設 業務労働者等に対 する給付金等の 支給に関する法律」 の改正を求める意 見書 可 決	内閣総理大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 経済産業大臣 環 境 大 臣

賛成＝○ 反対＝●

議案番号	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		森 大地	内 田 美穂	霞 浩子	市 原 成一	印 東 彦治	小 倉 弘業	森 川 貴恵	秋 鹿 幹夫	宮 園 博香	山 崎 義貞	鈴木 和彦	鈴木 輝男	川 島 仁	川 島 富士子	鈴木 克征	鈴木 唯夫
発議第 1 号	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	／	●	○	●	●	●

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

11月臨時会

専決処分・横芝小学校改築電気設備工事請負契約の締結を可決

令和5年11月臨時会は、11月13日に招集され1日の会期で開催されました。

臨時会に提出された議案は、町長提出2議案と報告1件で、慎重な審議の結果、原案どおり可決されました。

議決結果 ≪11月臨時会≫

賛成＝○ 反対＝●

議案 2 件のうち、賛否が分かれた案件はありませんでした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議 案 名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			森 大地	内 田 美穂	霞 浩子	市 原 成一	印 東 彦治	小 倉 弘業	森 川 貴恵	秋 鹿 幹夫	宮 園 博香	山 崎 義貞	鈴木 和彦	鈴木 輝男	川 島 仁	川 島 富士子	鈴木 克征	鈴木 唯夫
議 案 第 1 号	専決処分の承認を求めること(和解及び損害賠償額の決定)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
議 案 第 2 号	横芝小学校改築電気設備工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
報 告 第 1 号	専決処分の報告(和解及び損害賠償額の決定)																	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明します。

12月定例会
一般質問

横芝光町の町政を問う！



市原 成一 議員・・・P5

- ◆こどもファーストを意識したこども計画の策定予定は
- ◆こども達の歓声が聞こえる町公園の遊具整備を
- ◆将来人口に危機感を持ち健全財政の堅持を

内田 美穂 議員・・・P6

- ◆校内教育支援センターの設置について
- ◆ICT環境の整備状況について
- ◆学びの多様化学校設置について
- ◆横芝光町の目指す教育について



森川 貴恵 議員・・・P7

- ◆町長の政治姿勢について 今期四年間を振り返って
- ◆新型コロナウイルス感染症予防ワクチンの今後について
- ◆自転車と歩行者の安全確保について

宮菌 博香 議員・・・P8

- ◆合併時から人口は4,139人減少
- ◆町道I-7号線（寺方地先外）は令和10年度完成予定



秋鹿 幹夫 議員・・・P9

- ◆当町でも被害が急増しているイノシシ対策について
- ◆防護柵設置補助金の創設を
- ◆イノシシに遭遇した際の対応策
- ◆町や学校での避難訓練の機会に周知してはどうか

川島 富士子 議員・・・P10

- ◆学校教育における更なる電子黒板（大型掲示装置）の導入を
- ◆男性のHPV感染対策（HPVワクチン接種助成）を
- ◆千葉県がん患者アピアランスケア支援事業の活用を
- ◆物価高騰・経済対策について、重点支援地方交付金の活用を



山崎 義貞 議員・・・P11

- ◆町長公用車の運用基準について
- ◆食料自給率向上にむけ耕作放棄地解消の取り組みについて
- ◆自主防災組織作りの取り組みについて
- ◆带状疱疹ワクチン接種費用の助成を



市原成一 議員

明日へつなぐ

将来を見据えたまちづくり

こどもファーストを
意識したこども計画
の策定予定は

Q 当町は平成7年
をピークに人口

が減り続けているう
に、最近10年間では
出生数が半減し令和4
年度82人、子育て
支援等の少子化対策
は益々重要となる。
本年4月の「こども
基本法」の施行によ
り、町の施策展開に
変化はあるか。町の
こども計画の策定を
現時点でどのように
進めようとお考えか。
その計画策定にこも
達の意見を反映する
か。

A こども基本法の
施行により、こも
達の権利としての一
層の福祉の充実と、
よりこどもの視点に
立った施策展開に努
める。市町村こども
計画は国が定める
「こども大綱」や県
の「こども計画」を
勘案しつつ、既に
策定済みの町のこ

どもに関する計画の
改訂に合わせて整
合性を図りながら一
体の計画として策
定する考えである。
その計画策定に
は、適切にこも
達の意見を反映す
るため、意見聴取
の方法を模索する。
こも達の歓声が聞
こえる町公園の遊
具整備を

Q 子育て支援には、
経済的支援策と同時
に子育て環境の整
備も必要であり、
遊具は、こも達
の心身ともに成長
するための学びの
ツールである。少
子化現象により各
区の遊具更新は行
わす、町公園の利
用を促すとの方針
には同調する。公
園利用を促すには
、魅力あふれる遊
具整備が必要と考
える。また、公園
遊具は幼児用が無
いに等しく、子育
ての喜びを実感し
てもらうため設置
すべきではないか。

A 児童遊園条例に
基づく施設が18
カ所あり、区の管
理協力を得ながら
、毎年専門業者の
点検も実施し、危
険な物は撤去して

る。町公園の遊具
も職員と専門業者
による点検を実施
し、適正に維持管
理している。公園
遊具は開設以来の
古い物も有るので
、具体的整備計画
はないものの、点
検結果を踏まえ町
民に親しまれる公
園としての維持管
理に努めたい。新
たな遊具を整備す
る際には幼時向け
の導入も併せて検
討したい。



▲ふれあい坂田池公園

将来人口に危機感
を持ち健全財政の
堅持を

Q 当町の人口推計
では、2045年頃
に人口1万5千人
として生産年齢人
口と老年人口の比
率が逆転する可能
性があると推計さ
れ、その際には必
然的に財源が減少
し予算規模も縮小
せざるを得ない。
この人口問題に危
機感を持ちながら
町の将来を考え、
具体的な編成方針
を指示したか。ま
た、来年度は骨格
予算編成とするか。

A 町の将来像の実
現に向け後期基本
計画を着実に推進
しつつも、限られ
た財源を有効に活
用するため、スク
ラップ&ビルドの
徹底と行政評価等
による事業検証に
より積極的な見直
しを行い、真に必
要な事業を重点的
かつ効率的に取り
組むこととした。
また新年度は、令
和6年3月に町長
選挙があることから
、全体予算を把握
しつつ骨格予算編
成とする。

る。町公園の遊具
も職員と専門業者
による点検を実施
し、適正に維持管
理している。公園
遊具は開設以来の
古い物も有るので
、具体的整備計画
はないものの、点
検結果を踏まえ町
民に親しまれる公
園としての維持管
理に努めたい。新
たな遊具を整備す
る際には幼時向け
の導入も併せて検
討したい。

すべての子が安心して過ごせる

学校づくりを

目標を長期欠席児童の減少から
心の居場所づくりに変えました

内田 美穂 議員

Q 令和4年度の不登校児童生徒数及びいじめの認知件数が過去最多となったことを受け、国は不登校いじめ緊急パッケージを発出し、その中で「落ち着いた空間で学習・生活ができる環境を学校内に設置すること」としていますが、当町の設置状況は。

A 町内の両中学校においては、校内教育支援センターは設置済み、小中学校では不登校支援教員が配置されていないため、当該施設は未設置です。今後県に加配教員の配置を要望してまいります。

要望 設置しているだけで安心して過ごせる場所となっていないとは限らな

いので、学校らしく見えな

い工夫や、周りの視線を気にせず入りやすいなどの工夫をして、より安心して過ごせる場所となるよう努めて頂きたいです。

Q 不登校の児童生徒がオンラインで自宅等から学べるICT環境の整備状況は

A 学校内ではもとより、家庭においても学習を継続できる環境整備がされています。

要望 オンラインでの学びは、あくまでも子どもが学びたいと主体的に思った時のひとつの選択肢であり、休養が必要な子どもたちを追い込むことのないよう配慮して頂きたいで

す。

Q 国は、学びの多様化学校の設置推進を図っていますが、今後当町において設置を検討する予定はありますか。

A 当町単独での設置については、教育課程の編成や人員配置等から、現状での設置は難しい状況です。

要望 明治時代、日本人全育することを目的に始まった公教育ですが、多様化が叫ばれる時代に、平等だけでなく画一的な教育だけではないのかという声もあり、オルタナティブスクールの設置も年々増えております。オルタナティブ教育や特色あ

る公教育を提供している地域に、そのような教育を子どもに受けさせたくて移住者が増えるという現象もあるのですが、当町も特色ある教育で新たな移住者獲得を目指してみたいかがでしょうか。

Q これから横芝光町がどういう教育を目指していくのか、教育長の思いを聞かせてください。

A 長欠児童を減らすという数値の問題ではなく、人としてかわっていかねければならないと考えており、目標のひとつである「長期欠席児童の減少」を、「心の居場所づくり」に変えました。魅力ある学校づくりのためには、児童

生徒に対するきめ細かな対応とともに、保護者や地域の力を借りて、学校と社会のつながりを強めた開かれた学校にすることが必要だと思っています。子どもたちを取り巻くさまざまな環境の中で、子どもたちが社会的な自立を目指せるよう進めていきたいです。





森川貴恵 議員

町長は町民の声や要望に どのように応えてきたか

町長への手紙や行政総務員を通して 伺っています

町長の政治姿勢について
今期四年間を振り返って

無投票当選結果
をどう見たか

有権者が候補者
を通じて政策的
な選択をすることによ
り、民意が反映され、
投票によって意思を伝
えるべきと考えていま
すが、無投票当選は投
票で選ばれる以上の重
みと責任があり、「選
ばれるまち」となれる
よう各種施策を推進し
てきました。

今年成し遂げた
事業、その成果
や反省すべき点は。

横芝光消防署の
建て替え、横芝
小学校の建て替え、横
芝駅のエレベーター設
置、公共交通の充実を
行うことができました。
事業完了には時間を要
するものもあり、今任
期中に完了できなかった
施策もあることに対

し、町民の皆様にはご理解
をお願いします。

今後の町民の政治意
識や投票率向上につ
いての所見は

全国的に無投票当選
や投票率の低下につ
いて問題視する意見が多くな
っています。特に、若い世代
において関心が低くなってい
ることから、昨年度より二
十歳を祝う式典実行委員の
皆様と町の施策についての意
見交換会を行っています。

ゼロカーボンシ
ーよこしばひかり宣
言の進捗状況は

公用車として令和3
年度に電気自動車を
2台、今年度は電気自動車
を1台とハイブリッド車を
1台購入しました。町民に
対しては「住宅用設備等脱
炭素化促進事業補助金」制
度を設け、太陽光発電を活
用した住宅用蓄電池やV2
H充放電設備等の設置に対
する補助を行っています。
また、企業立地促進条例の

改正を行い、指定企業に対
して新設または増築した事
業所の敷地に設置した太陽
光発電設備についての補助
制度を設けました。

町長自身が行ってい
る対策は

強いてあげれば、ハ
イブリッド車に乗っ
たり、徒歩で行けると
は徒歩で行ったり、もとも
と細かいところは、細かい
のでしっかりやっているつ
もりです。

新型コロナウイルス感染症
について

インフルエンザとの同
時流行への取り組みは

新型コロナウイルス
をはじめとしたさま
ざまな感染症の発生状況等
について注視し、県が取り
組んでいる医療提供体制等
について、町ホームページ
等で周知啓発していきます。
今後の持続的取り組み
みは

状況を踏まえて、町内各医
療機関への情報提供を通じ
て連携してまいります。

交通安全対策について

自転車用ヘルメッ
トの努力義務化につ
いての所見は

ヘルメットを着用し
ていない場合の致死
率は着用時と比較した場合
に2.2倍も高くなっています。
町ではこれまで中学校入学
予定者全員に通学用ヘルメ
ットを無償で配付していま
す。自転車運転者自身の命
を守るため、ヘルメット着
用を引き続き呼びかけてい
きます。

歩道の整備と安全確
保はどのようにされ
るのか

歩道と車道の間には歩
車道境界ブロックを
設置します。幅員が狭小で
ある道路については、必要
に応じて車道の端にゴム製
のポールを設置し、歩行者
と車が近づきすぎないよう
対応しています。

接種体制につしまし
ては、接種希望者の

7

栗嶋橋が開通して10年が経過しても 町道1-7号線の進捗率は22%

住民の理解を得ながら 道路整備の推進に努める



宮 蘭 博 香 議員

Q 当町は平成18年3月27日に合併、合併時の人口は26,562人で

したが、令和5年10月1日には22,423人で4,139人減少しました。出生数も平成18年には163人いましたが、令和4年には89人しかおらず、合計特殊出生率も1.15ありましたが、1.09まで下がってしまいました。参考までに千葉県は1.18、全国は1.26という状況になっています。小学校入学者数におきまして平成18年度には247人いましたが、令和4年度には136人と100人以上も減ってしまいました。一方、準要保護児童生徒数は

平成19年度には82人だったのが、令和4年度には111人になり、児童生徒数が激減しているのにもかかわらず29人も増えているなど異常な状況にあります。また、平成18年度当初予算は86億9,500万円でしたが、令和4年度には115億6,300万円に膨れ上がりました。当町の標準財政規模は70億円弱となっています。また、平成20年度には0.57あった財政力指数は令和4年度には0.45まで落ち込んでしまいました。今後は自主財源の確保を図ることが必要と思われまます。そこで、人口減少対策や自主財源の確保を図るために横芝中学校跡地

については、若者の定住対策として、土地については30年を一区切りとして無償で貸し出しをし、希望者の負担により家を建築していく旨の許可を与え、定住させる制度を確立してはいかがなものか、また、道路整備についても全体的に計画よりもかなり遅れている状況にあります。特に、栗嶋橋が完成してから10年が経過しますが、町道1-7号線（寺方地先外）の進捗率は約22%で完成予定年度は令和10年度ということですが、なぜこのような状況になってしまったのか、町長にお伺いします。

学校プール跡地活用事業の効果や影響などを見たいうえで、宮蘭議員の意見を参考に、どのような活用が町の発展にとって有効なのかという観点から検討したいと考えています。また、道路整備については、交付金の配分などの歳入状況や道路予定地の相続が完了していないなど用地交渉が難航していることもあり道路整備の進捗が遅れているところですが、どの路線も町の発展のためには重要な道路でありますので、早期に主要道路が完成できるよう住民の理解を得ながら道路整備の推進に努めてまいります。

A

旧横芝中学校跡地については、旧横芝中



▲町道1-7号線

※その他の質問

○町長の政治姿勢について

・企業誘致の推進

○小学校の跡地利用について

・上堺小学校と日吉小学校の跡地利用

○東陽病院について

・現在の運営状況

・土・日曜日及び祝日の面会



秋鹿幹夫 議員

被害が急増するイノシシへの対策を

電気柵支援や避難訓練を検討

Q 農作物への対策としては、電気柵や防護柵を設置することによって、一定の効果を確認されている。これらに関する設置補助金の創設を。

A 町では猟友会と協力して、くくり罠や箱罠による捕獲を通年で行っており、加えて侵入防止対策としての電気柵の支援を検討しているところだ。効果的な対策のためには捕獲や侵入防止のみならず、収穫残渣などによる餌付けをなくす、隠れ場所をなくすといった地域ぐるみでの対策が必要です。

Q イノシシに遭遇した際の対応策には様々あり、やむを得ない場合に行うものもある。落ち着いた行動をとれる様に、避難訓練の機会に周知してはどうか。

A 当町において、イノシシの目撃報告や足跡、作物被害等の情報は寄せられています。幸いにして現在までに人的被害は発生していません。イノシシによる被害の未然防止を図るため、遭遇した際の対処方法などを町ホームページや防災行政無線などで周知し、注意喚起を行っております。この他にも、耕作放棄地や荒地の草刈り管理を行い、イノシシが身を隠せる場所を無くすことや、餌となるような生ごみ等を畑や民家周辺に投棄しないことなど、地域住民が一体となって「寄せ付けない」対策を行うことも必要となります。このことから、「避難訓練」など、多くの住民が参加する行事等を活用し、広く啓発活動を行うことは有効な手段の一つであると考えられます。

Q 人的被害が発生する前だからこそ考えていくべき事である。早急に進めて頂きたい。その他、保護者からの意見で、学校等で子供達に対しても、機会を設けて周知する事も良いのではないかと声がある。街中でイノシシが現れてしまい、警官がさまたで応戦していたニュースも取り上げられていたが、当町で発生する可能性もある。町の認識は。

A 目撃情報が入りましたら、各学級の帰りの会などで対応策について説明してまいりたいと思います。

要望 目撃情報は既に防災無線等で周知されています。



※その他の質問

- 地域振興について
 - ・横芝駅北口開発計画の進捗は
 - ・駅開発と同時に、栗山川堤防を利用した空港直結道路要望を
 - ・『新しい成田空港』構想検討会の委員に町長が入り、参画していく事は出来ないか
- 学童保育について
 - ・施設面積を拡充する考えは
 - ・職員の負担軽減に関する考えは
- 自治体DXの推進について
 - ・DX（デジタルトランスフォーメーション）導入後の取り組みは
 - ・情報格差の解消に向けた取り組みは

重点支援地方交付金の活用を

物価高騰対策のために

早期の予算執行が必要



川島 富士子 議員

Q 学校教育におけるICT活用推進について、更なる電子黒板（大型掲示装置）の導入を。

A 令和2年度に導入した児童生徒1人1台端末や高速大容量の通信環



境の下で新しい学びがスタートしており、電子黒板は、「移動式」を採用し、小学校には1校当たり3台から9台、中学校には9台を配備しております。現在、改築中の横芝小学校には、全ての普通教室に「埋込式」の電子黒板を整備します。令和3年度から国におけるデジタル教科書の実証実験が開始されており、当町ではデジタル教育を推奨し、ICT機器の活用・整備に努めてまいります。

Q 優しさあふれるまちづくりについて、男性のHPV感染対策（HPVワクチン接種助成）を。

A ヒトパピローマウイルスいわゆるHPV

は男性にも感染し、咽頭がん・肛門がん・陰茎がん等の発症に関与すると言われております。男性のHPVワクチンは、現在、定期接種の対象とはなっておりませんが、男性にも接種すること、HPV感染への予防効果が期待されることから、周知してまいります。

Q 優しさあふれるまちづくりについて、千葉県がん患者アピランスケア支援事業の活用を。

A アピランスケアとは、がんの治療を受けている方が治療内容等により、頭髮等の脱毛、皮膚や爪の変化、乳房切除等でアピランスいわゆる外見の変化により、心理的な負

担が大きい、医療用かつら（ウィッグ）や胸部補整具を装着することで、社会参加や生活の質の向上を図ることが期待できます。市町村が購入等費用の一部を助成する事業を行った場合、県から補助金が交付されます。今後、当町における助成制度の実施を検討してまいります。

Q 物価高騰・経済対策について、重点支援地方交付金の活用を。

A 重点支援地方交付金については、内閣府から年内の予算化に向けた検討をいただきたい旨の通知が発出され、早期の予算執行が物価高騰対策のため必要と考えられるた

め、本日（12月12日）、町一般会計補正予算案を町議会定例会へ追加提案させていただきました。本交付金を活用する事業を選別するにあたっては、低所得世帯支援を追加的に拡大するとともに、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するとの趣旨や、今まで行ってきた事業の効果・評価を踏まえ、また11月20日付けで川島富士子議員から町長あてにいただいた緊急要望を参考にさせていただきます。

※その他の質問

○優しさあふれるまちづくりについて
・児童福祉法改正で示された訪問家事支援（産後ドゥーフ）の導入を



山崎 義貞 議員

町長公用車の使用基準は

社会通念上
認められるか否かで判断

Q 町長公用車の明確な運用基準がありません。運用基準の作成を求めるものですが、町民誰もが納得できる基準を示すことが必要ではないか。

A 当町では、町長公用車の運用基準は定めてませんが、公務の遂行上、町長車の使用が必要な場合には、その使用により当該公務が円滑かつ安全に遂行でき、町の政策実現に寄与し、公益の増進に資するとともに、社会通念上認められるか否かで判断しているところです。

Q 日本の食料自給率は38%を切っています。1960年79%あった自給率は2000年には40%まで落ち込み、稲作経営農家の時給は、2020年に181円、21年は10円で、他産業の時給

をはるかに下回っています。そして、下がり続ける農家所得と反比例に、荒廃農地が増え続けています。耕作放棄地解消の取り組みは。

A 食料の安定供給、食料自給率の向上を図るためには、優良農地を確保するとともに、耕作放棄地を有効活用することが必要です。担い手農家に農地の集積が進んでいるところ

ですが、効率的な営農のためには農地の条件が良好であることが望まれます。用水路や狭小な圃場区画を改善するためには、地域の合意により圃場整備事業を実施するのが有効であり、現在も新井、宝米、二又、篠本1区、匠瑤市貝塚の一部を含めた南条地区で、土地改良区や県と協力しながら地域と話し合いを進めています。また、耕作する方がいなくなり、遊休化した農地の荒廃が進む前に、各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員の方々が地権

者や周辺の耕作者に働きかけていただいているところ

Q 大規模な災害が発生したときに、互いに協力し合う事によって、被害の軽減を図ることができ

るのが自主防災組織です。組織数の引き上げ支援は。

A 自主防災組織設立に向けた相談窓口の開

設や、設立に係る費用等について1団体当たり50万円を上限とした補助金の交付を行っています。引き続き自主防災組織の重要性の周知及び町広報紙や町のホームページを活用した設立の呼びかけなど設立に係る施策を実施していきたいと考えています。

Q 全国280の自治体で带状疱疹ワクチン接種費用の助成をしています。千葉県

の自治体でも全額助成から一部負担まで行う自治体が増えています。ワクチン接種費用の助成制度を。

A 带状疱疹ワクチン接種への費用助成は県内9市町が助成制度を設けていることは把握して

いますが、補助対象のワクチンが、生ワクチンと不活化ワクチンの両方の場合や不活化ワクチンのみの場合があり、また補助金額にもばらつきがあります。今後の国や県の動向に注視しながら、引き続き調査研究していきます。



二常任委員会合同視察研修

1 日目 ～ SDGsの取組状況について～

4年ぶりに、横芝光町議会二常任委員会合同視察研修を10月19日から20日にかけて実施し、姉妹町である神奈川県松田町では、SDGsの取組状況について、また神奈川県秦野市では、議会改革の先進事例（ICT化等）について視察をしました。

第1日目の松田町では、本山町長自らご説明をいただきました。令和3年度に国から“SDGs未来都市”に選定されて、町域面積の76%を占める森林資源を軸に、地域の資源、強みを活かし、デジタル技術の活用などにより松田町版SDGsを実現できるよう各種施策を展開され、中でも包括連携協定企業などのステークホルダーとの連携やSDGsパートナー支援システム「SDGs推進プラットフォーム」の導入など、SDGsを共通言語とした地域課題解決に向けた地域活動への参加がしやすい環境の整備に努められており、当町のSDGsへの取組に大変参考となる研修でした。また研修の後には、ウッドデザイン賞を受賞された町立松田小学校を視察しました。



2 日目 ～議会改革について～

視察研修2日目は、松田町の東隣の人口16万人の秦野市で、ICT化導入の先進事例を中心に研修しました。

秦野市では、平成28年度に議員へのタブレット端末の配布と議場への大型スクリーンの設置を行いました。

その導入経費については、議員定数26名から24名への削減により生じた費用の一部を充てる財源措置により実施したとのことでした。

また、機器導入後にはスクリーン活用やインターネット中継の方針を議会運営委員会で議場の多目的利用基本方針を策定し、市民の方々を対象にした映画上映会や市民コンサート会場としても活用されているとのことでした。

ICTの導入効果としては、写真やグラフを用いた議論により、論点が明確で内容が分かりやすくなったとの市民意見がある他、資料作成の議会側事務量が増大する等の短所があるものの、情報伝達の即時性や情報データ共有化による効率化及びペーパーレス化が図れる等の利点も多いようです。

今後は、町議会でも導入に向けた検討を進める必要性を感じました。

なお、秦野市議会ではICT化の他、予算決算委員会などの委員会中心主義の運営等の議会改革も行っています。



成田国際空港視察

11月29日成田国際空港視察を行いました。

成田国際空港の現状と更なる機能強化の進捗状況等についての説明と意見交換を行い、空港内の施設を見学しました。



議会ダイアリー

11月

1日・定期監査

7日・議会運営委員会

9日・令和5年第2回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会

10日・大総地区敬老会

13日・11月議会臨時会

・議会議員全員協議会

・土地家屋評価審議会

16日・匝瑳市ほか二町環境衛生組合一般会計例月出納検査

19日・産業まつり

・松田町議会来庁

21日・例月出納検査

・議会運営委員会

・第2回千葉県町村議会議長会定例会及び議長・副議長自治研修会

28日・議会議員全員協議会

29日・成田国際空港視察

30日・旧横芝行政センター跡地活用事業プロポーザル審査委員会

・戦没者追悼式

12月

3日・青少年剣道大会

5日・12月議会定例会（1日目）

・議会議員全員協議会

8日・12月議会定例会（2日目）

12日・議会運営委員会

12月議会定例会（3日目）

15日・横芝光町屋形地区公有地

周辺活用検討パートナー選定審査委員会

・広報委員会

17日・自衛隊協力会視察研修

19日・横芝光IC周辺まちづくり推進協議会

・男女共同参画推進会議

20日・成田国際空港騒音対策委員会山武・横芝光地区部会視察研修（21日）

・例月出納検査

21日・介護保険運営協議会

22日・地域公共交通会議

25日・東陽病院運営検討委員会

1月

7日・二十歳を祝う式典

8日・消防出初式

15日・広報委員会

16日・山武郡市議会議長会定期総会

18日・横芝光IC周辺まちづくり推進協議会

22日・まち・ひと・しごと創生会議

・広報委員会

23日・例月出納検査

・議会運営委員会

24日・成田空港と地域の繁栄を目指す有志の会新春勉強会

26日・千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員協議会

28日・第18回町内駅伝大会

31日・1月議会臨時会

・議会議員全員協議会

議会を傍聴しませんか

3月定例会は、2月下旬から開催する予定です。議会開会中は、議会を傍聴することができます。

なお、3月定例会の日程等詳細については、決定次第、防災行政無線及び町ホームページでお知らせいたします。

※会議録のホームページ掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和5年9月議会定例会までご覧いただけます。

《傍聴席での主な注意事項》

- ・電子機器（携帯電話・カメラ等）は使用できません。
- ・録音機や拡声器類を携帯した方、酒気帯び等の方は入場できません。
- ・飲食や喫煙はできません。
- ・私語、談話又は拍手をしたり、みだりに席を離れることはできません。



※HP議会会議録

二十歳を祝い式典

(1月7日)



消防出初式 (1月8日)



新春マラソン大会 (1月6日)



編集後記

新しい年を迎え、早くも一ヶ月が過ぎました。今年は、新年早々大変な災害があり、心を痛めた町民の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。被災された方々が一日も早く日常に戻れることを願わずにはいられません。

さて、当町では、今月から自動運転バスの公道での実証走行が始まります。どなたでも無料で乗車することができ、ますので、町民の皆様もぜひご体験ください。

最後に、すべての町民の皆様が安心して過ごせる町となるよう熱い議論が交わされている議会の内容を、「議会だより」で分かりやすく皆様に届けられるよう、広報委員会一同これからもより一層努力してまいりますので、ぜひ、皆様からのご意見をお寄せ頂けると幸いです。

広報委員会

委員長
副委員長
委員

鈴木 和彦
鈴木 輝男
川島 富士子
山崎 義貞
秋鹿 幹夫
市原 成一
霞 浩子
内田 美穂